

第11回

日本呼吸 理学療法学会 学術大会

プログラム

テーマ

呼吸理学療法の未来を
Sou-Zouする
創造×想像×想造

2025 **11.29** 日
11.30 日

会場 | 京都テルサ

〒601-8047
京都府京都市南区東九条下殿田町70

学術大会長 | 堀江 淳 (京都橘大学)

副学術大会長 | 宮崎 慎二郎 (KKR高松病院)

準備委員長 | 阿波 邦彦 (奈良学園大学)



日本呼吸理学療法学会

大会長挨拶



第11回日本呼吸理学療法学会学術大会

大会長 堀江 淳
京都橘大学

このたび、第11回日本呼吸理学療法学会学術大会を2025年11月29日(土)・30日(日)の二日間、京都において開催させていただきます。今回の学術大会のテーマは「呼吸理学療法の未来をSou-Zou(創造・想像・想造)する」とさせていただきます。

呼吸リハビリテーションの歴史として、わが国では肺結核が起源であるとされています。その後、世界的な潮流に合わせて、現在の主たる対象疾患である慢性閉塞性肺疾患(COPD)の一治療手段として発展、確立してきました。近年では、間質性肺疾患のリハビリテーションも注目され、抗線維化薬という新しい治療薬の出現とともに、呼吸リハビリテーションの新たなステージに突入したといえるのではないのでしょうか。これら変遷を遂げてきた呼吸リハビリテーションの中核を担ってきたのが理学療法であり、我々理学療法士であることは間違いありません。これからも、未来に向けて新たなミッションが、我々理学療法士に課せられていると考えます。

今回の学術大会のテーマは、「呼吸理学療法の未来をSou-Zouする」としました。そして、その「Sou-Zou」に「想像・創造・想造」の三つのことばをあてはめました。「想像」とは、「頭の中に思い描くこと」であり、これまでの経験だけでなく、無の中からも頭に思い浮かべることを指します。一方、「創造」とは、新しいもの作り出して誕生させることです。最後の「想造」は、一般的にあまり使われることのない造語です。「想像」と「創造」から派生し、用いられることがあります。これら三つの「Sou-Zou」は、我々理学療法士が、呼吸理学療法の未来を、我々がこれまで実践してきた経験、あるいは、全く違った視点からイメージし、これからの呼吸理学療法をクリエイトすることを目指すという想いを込めました。

プログラムでは、一般演題に加え、特別講演1演題、教育講演9演題、シンポジウム4演題、ランチョンセミナー1演題を企画しました。プログラムの特徴として、未来を担う、現在、多方面で活躍中の若手の先生方を中心に、演者、シンポジストとして登壇をお願いしました。まさに、これからの新たな呼吸理学療法をSou-Zouしてくださる講師陣ではないかと考えます。

この時期の京都といえば、「紅葉」の時期です。やや終盤を迎える時期かもしれませんが、全国的に人気の高い京都の紅葉を楽しんでいただけたらと思います。また、2025年といえば、関西万博が開催される年です。皆様のお泊り頂くホテルが予約しやすいよう、開催期間終了後に、学会の日程は組んでおります。とはいえ、まだまだ、関西地方では万博気分も味わえる時期ではないかと期待しております。学術大会では、呼吸理学療法に関する多くの新しい知見を学んでいただき、プライベートでも、少し足を延ばして京都の秋を満喫していただければと思います。準備委員一同、ひとりでも多くの皆様ご参加いただけることを心よりお待ち申し上げます。

令和7年5月吉日

施設長 病院長 殿

一般社団法人 日本呼吸理学療法学会
理事長 玉木 彰



第11回日本呼吸理学療法学会学術大会
大会長 堀江 淳



第11回日本呼吸理学療法学会学術大会 出張許可のお願いについて

謹 啓

時下、貴施設におかれましては益々ご清栄にこと心よりお慶び申し上げます。平素は当
会運営ならびに本会会員の理学療法士にひとかたならぬご支援、ご鞭撻を賜り、深く感謝
申し上げます。

さて、この度、「第11回日本呼吸理学療法学会学術大会」を下記のとおり開催する運び
となりました。

つきましては、貴職員で本会会員理学療法士の _____ 氏の学術
大会出張について、格段のご配慮を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

謹 白

記

1. 学 術 大 会 第11回日本呼吸理学療法学会学術大会
2025年11月29日(土)～2025年11月30日(日)
2. 開 催 場 所 京都テルサ
京都市南区東九条下殿田町70番地(新町通九条下ル)
3. 学術大会長 堀江 淳(京都橘大学)
4. 主 催 日本呼吸理学療法学会
東京都港区六本木七丁目11番10 (公社)日本理学療法士協会内
5. 事 務 局 第11回日本呼吸理学療法学会学術大会事務局
京都橘大学 健康科学部 理学療法学科
E-mail : congress11th@jsrpt.jspt.or.jp

以 上

座長・演者へのご案内

■ 発表と質疑応答時間

本大会での発表形式は口述発表（発表時間7分、質疑応答3分）のみとなっております。

■ 座長へのお願い

- ・参加受付を済ませた後、担当セッション開始時刻20分前までに、座長受付をお済ませください。座長受付は1F 総合受付付近に設置いたします。
- ・セッション開始時刻10分前までに担当セッション会場内の「次座長席」にご着席ください。
- ・座長が2名選出されているセッションについては、セッション内の分担は一任いたします。不測の事態にて、座長1名の職務が遂行不可能となった場合には、代理は立てず、1名で座長の職務を務めていただきます。
- ・担当セッションの進行は座長へ一任いたします。セッションごとの時間厳守にご協力ください。
- ・発表時間は、時計回線システム（タイマーでランプが点灯）で通知されます。発表終了時間となりましたら、速やかに質疑応答にお移りいただきますようお願いいたします。
- ・質疑の際は、所属・氏名を確認するようにお願いいたします。

■ 演題発表者へのお願い

● 利益相反（COI）の開示について

- ・発表スライドの2枚目（タイトルスライドの次）には、演題名、演者名および利益相反について開示してください。利益相反の開示に関する基準については、日本理学療法学会連合ホームページをご参照ください。開示するスライドの記入例はこちら（<https://www.jspt.or.jp/shinsa/coi/index.html>）をご参照ください。

● スライドの受付について

- ・参加受付を済ませた後、発表セッション開始時刻30分前までに「データ受付」をお済ませください。「データ受付」は2F PC 受付にて行います。USB フラッシュメモリーにて提出してください。
- ・スライドデータのファイル名は「セッション名_演題番号_氏名」としてください。
例）「一般口述1_03_呼吸十一」
- ・2日目の演者は可能な限り1日目に「データ受付」をお済ませいただくようお願いいたします。
- ・一般演題では、ご自身のパソコンの持ち込みはできません。
- ・パワーポイントスライドの大きさは「ワイド（16：9）」で作成ください。
- ・学会のPCにコピーしたデータは、会期終了後に学会主催者側で責任をもって削除いたします。
- ・持ち込まれるUSBフラッシュメモリーは、必ず各自にてウイルスチェックを行ってご持参ください。

- データ持ち込みは PowerPoint 2016/2019/365 で作成されたデータを推奨しています。
- Mac で作成された場合は、必ず上記環境で動作確認済のデータをお持ちください。
- 一般演題（講演を除く）では動画、音声の使用はできません。

●口述演題発表について

- 参加受付を済ませた後、セッション開始時刻30分前までに、演者受付を済ませてください。
演者受付は1F 総合受付付近に設置いたします。
- セッション開始時刻の10分前までに会場内の「次演者席」にご着席ください。
- PowerPoint の機能の中にある「発表者ツール」は使用できません。発表原稿が必要な方は、あらかじめ印刷して持参ください。会場内で印刷することはできません。
- プレゼンテーションの操作は原則、演者に行っていただきます。
- スライドの枚数に制限はありませんが、発表時間を厳守するようにしてください。
- 演者変更がある場合は発表時に自己申告してください。
- 演台には、手元灯、ポインターを準備しています。
- 発表時間は、時計回線システム（タイマーでランプが点灯）で通知されます。終了の合図（ランプの点灯）がありましたら速やかにご発表を終え、質疑応答に備えてください。

学会参加者へのお知らせ

- 本学術大会の事前参加登録は大会ホームページ「参加登録」を確認の上、各自の責任で行ってください。
- 参加登録は日本理学療法士協会マイページまたはJPTA アプリから検索可能です。日本理学療法士協会に所属していない方は、Payvent から参加登録をお願い致します。
- 本学術大会は現地開催のみとなります。
- 日本理学療法士協会の方のポイント(点数)はJPTA アプリのみでの付与となります。学術大会前までに各自JPTA アプリの利用準備を何卒お願い致します。
※当日現地での参加登録も可能ですが、事前参加登録にご協力をお願いします。

■ 参加登録費

日本理学療法士協会 会員	事前参加登録	当日参加登録
本学会専門会員 A	10,000 円	12,000 円
一般会員／協会会員	12,000 円	14,000 円
日本理学療法士協会 非会員	事前参加登録	当日参加登録
非会員 理学療法士	24,000 円	26,000 円
非会員 他職種	12,000 円	14,000 円
学生(大学院生除く)	0 円	0 円

※理学療法士免許を保有される方で協会会員でない場合は「非会員 理学療法士」となります。

※理学療法士免許を保有される方は編入学部生・大学院生にかかわらず学生区分の扱いにはなりません。

※他職種の方で当日参加登録の場合は医療従事者関連証明書または職員証(職種がわかるもの)を受付でご提示をお願い致します。他職種であることが証明できるものが確認できない場合には非会員 理学療法士での参加登録となりますのでご注意ください。

■ 領収書

- 日本理学療法士協会会員：協会マイページよりご自身にてダウンロードを行ってください。
- 非協会会員の方：参加登録の Payvent より領収書のダウンロードを行ってください。また Payvent の領収データ以外の形式での領収書は発行できません。予めご了承ください。

■ 参加受付

会 場：京都テルサ 1F 総合受付

日 時：2025年11月29日(土) 11時00分～17時00分

2025年11月30日(日) 8時30分～16時00分

【日本理学療法士協会：会員の方】

1. 来場前に JPTA アプリのインストールをお願いいたします。
2. 参加者受付で QR コードを掲示します。各自の JPTA アプリで読み取り、受付を行ってください。
読み取りの確認はご自身で行ってください。
3. ネームプレートに記載後、ネックストラップをお取り頂きご入場下さい。会場内では必ずネームプレートを着用してください。
4. QR コードの読み込みは会期中に1回のみで構いません。連日行う必要はございません。
※ JPTA カードでの参加受付は行いません。ご理解のほどよろしくお願い致します。
※ QR コード読み込みによる受付をされない場合は、参加ポイント(点数)取得ができませんので忘れずに受付を済ませてください。閉会後の申請は受付いたしかねます。

【日本理学療法士協会：会員以外の方】

1. 参加者受付でネームプレートに記載後、ネックストラップをお取り頂きご入場下さい。会場内では必ずネームプレートを着用してください。
2. 参加ポイントを取得するための特別な参加受付はございません。

■ 参加証明書について

ネームプレートの下部に参加証明書が付帯しております。紛失後の個別送付はいたしませんのでご注意ください。

■ 単位・ポイント(点数)の取得について

● (公社)日本理学療法士協会生涯学習ポイントの単位取得について

(公社)日本理学療法士協会生涯学習ポイント(点数)が取得できます。

- ① 学術大会(学会参加)ポイント(点)；登録理学療法士更新ポイント(11.5ポイント)、認定／専門理学療法士更新点数(11.5点)として
- ② 学術大会での一般発表(筆頭演者のみ)、講師、シンポジスト 20点：認定／専門理学療法士更新点数として
- ③ 学術大会での座長 10点：認定／専門理学療法士更新点数として

※座長・演者登録者も事前参加登録が必要です。

※発表者の変更は、共同演者による代理発表のみ許可されます。発表のポイントとして登録できるのは、筆頭演者のみです(二重発行、両者での分割はできません)。

■ 参加申込時の履修目的について

履修目的について、申し込み時に登録理学療法士更新ポイント、認定／専門理学療法士更新点数どちらで申し込みするかを選択する必要があります。申し込みの際は、お間違いの無いようお願いいたします。

セミナー番号：141601

【登録理学療法士更新】

カリキュラムコード 1 プロフェッショナリズム 11.5ポイント

【認定／専門理学療法士更新】

学術大会（学会参加） 11.5点

■ 他認定機関における単位取得について

本学術大会への出席および発表に際し、下記の単位が取得できます。参加証明書の写しを添付し各自で各認定機関へ提出ください。詳細は、各認定機関のホームページをご確認・お問い合わせください。

【日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 呼吸ケア指導士資格認定更新単位の取得】

a. 学会出席 10点

b. 筆頭演者 10点（参加証に併せて発表を証明するページの提出が必要）

*呼吸ケア指導士について <https://www.jsrccr.jp/medical/shidoushi/>

【3学会合同呼吸療法認定士資格認定更新単位の取得】

a. 学会出席 20点

*3学会呼吸療法認定士について <https://www.jaame.or.jp/iryo/kokyu/>

■ クローク

2F リハーサル室に設けております。

2025年11月29日（土） 10時30分～17時30分

2025年11月30日（日） 8時30分～16時30分

両日とも終了時間後は施錠いたします。それ以降の取り出しには応じられません。上記ご利用時間の厳守をお願いします。貴重品、傘、PC等はお預かりできませんのでご注意ください。会期終了後のお忘れ物に関しては、会場での処分になりますのでご注意ください。

■ 企業展示

2F 企業展示ブースにて、展示を行います。展示時間帯は以下の通りです。

2025年11月29日（土） 11時30分～16時30分

2025年11月30日（日） 9時00分～16時00分

■表 彰

閉会式(2025年11月30日15時40分～16時00分)にて各賞の表彰を行います。ご参集ください。

1. 学術大会長賞
2. 優秀賞
3. 奨励賞(若手研究部門)
4. 奨励賞(学生研究部門)
5. 奨励賞(症例報告部門)

■お知らせとお願い

- ・会場内での許可無き録音・録画・写真撮影は固く禁止いたします。なお、学会においては腕章をつけた準備委員が写真撮影を行いますのでご了承ください。
- ・当日の問い合わせは、学術大会事務局のメールアドレスにお願いします。京都テルサには電話をされませんようお願いします。
- ・受動喫煙による非喫煙者の健康への影響に配慮し、喫煙を禁止しています。
- ・発熱症状や咳など体調がすぐれない方のご来場は控えをお願いします。

■お子様を連れて参加を検討されている皆様へ

本学術大会では、お子様連れでの来場を歓迎いたします。ただし、お子様の監督責任は保護者の方をお願いします。

なお、本学術大会は託児所の設置はございません。お子様、理学療法士以外の同伴者の参加費は無料となります。お越しの際には、必ず1F 総合受付へお声がけください。

■報道関係者の皆様へ

学術大会ホームページお問い合わせより、事前の取材申し込みをお願いいたします。当日、受付にて名刺と引き換えにプレス証をお渡しします。

プレス証未着用の方の取材活動は固くお断りします。取材活動にあたっては、学術大会事務局の指示に従ってください。写真ならびにビデオ撮影に関しましては、報道目的のみとさせていただきます。撮影に関しましては、原則として、演者本人の承諾を得ている取材のみとさせていただきます。学術大会での発表(口演内容、スライド、ポスター等)は、すべて著作物です。著作権に配慮した取材をお願いいたします。口演中のフラッシュ撮影は固くお断りいたします。

■ 宿泊のご案内について

- 学術大会としての宿泊の斡旋はございません。[JTB 宿泊・交通 WEB 予約](#)から会場周辺の宿泊施設が検索できます。必要に応じてご利用ください。
- なお、学術大会の時期が観光シーズンのため、現時点で周辺の宿泊施設の予約が取りにくい状況が発生しております。
- 会場近辺の宿泊施設が不足することが予想されていますので、宿の確保はお早めをお願いできれば幸いです。

交通案内

京都テルサ

京都市南区東九条下殿田町70番地

京都府民総合交流プラザ内〈地下駐車場180台（有料）〉

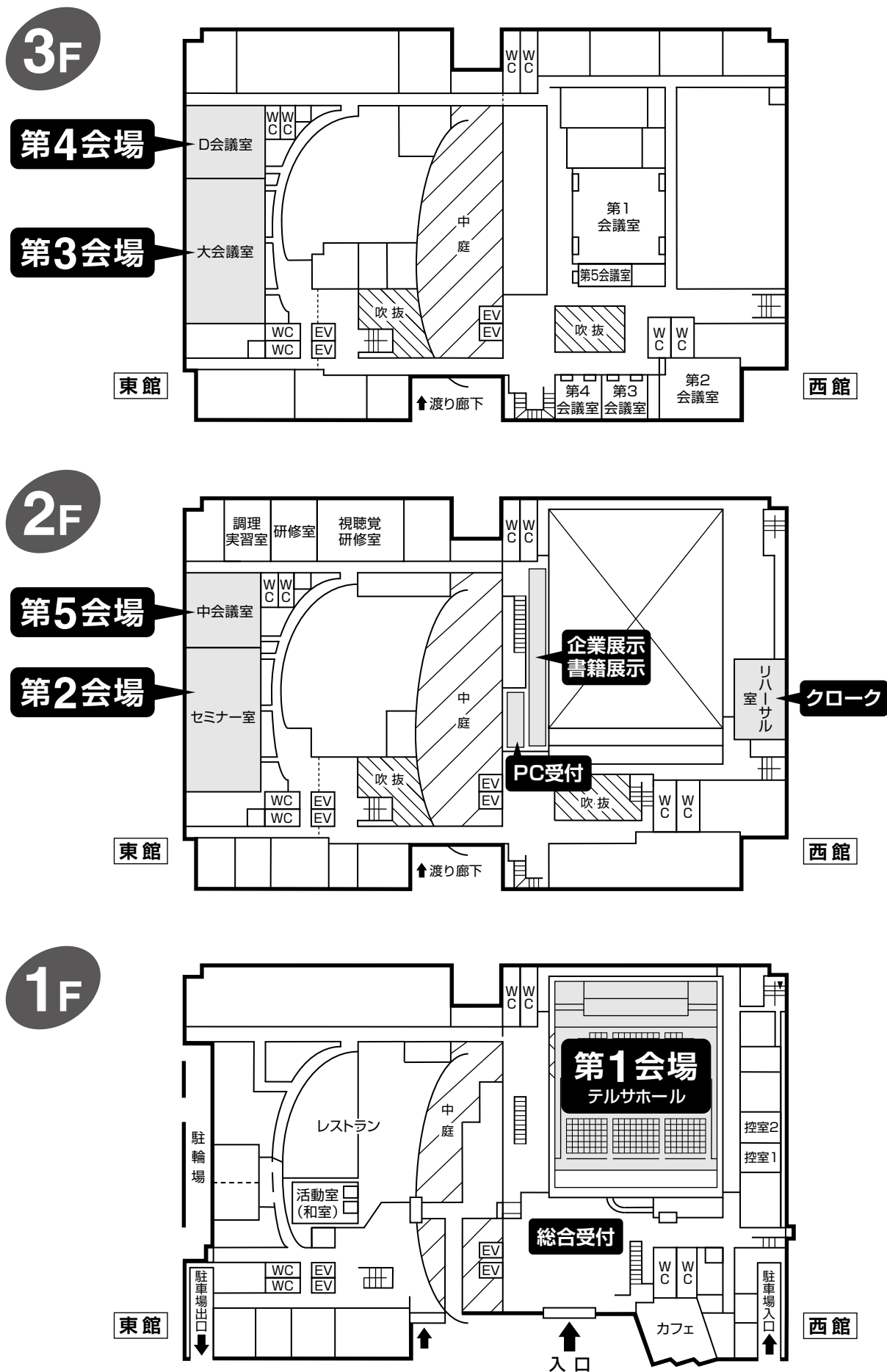
TEL 075-692-3400(代) FAX 075-692-3402



アクセス

- JR京都駅(八条口西口)より南へ 徒歩約15分
- 近鉄東寺駅より東へ 徒歩約5分
- 地下鉄九条駅④番出口より西へ 徒歩約5分
- 市バス九条車庫南へすぐ
- 名神京都南インターより国道1号北行き市内方面へ
九条通を東へ、九条新町交差点を南へ

会場案内



日 程 表

1 日目 2025年 11月 29日 土

	第 1 会 場 テルサホール	第 2 会 場 セミナー室	第 3 会 場 大会議室	第 4 会 場 D会議室	第 5 会 場 中会議室
11:00	11:00～ 受付開始				
12:00	12:00～12:20 開 会 式				
	12:20～12:50 大会長基調講演 今、もう一度見直そう COPDと身体活動	座長：宮崎 慎二郎 演者：堀江 淳			
13:00	13:00～14:30 特 別 講 演 呼吸理学療法への応援歌 ～呼吸リハビリテーションの 未来を思い描く～ 座長：玉木 彰 演者：佐藤 晋	13:00～13:50 教育講演 1 グローバルに呼吸理学療法を 捉え、どう活かすか？ 座長：新貝 和也 演者：川越 厚良	13:00～13:50 一般演題 1 COPD・ 気管支喘息・ 非結核性抗酸菌症① 座長：阿波 邦彦 富 謙伸	13:00～13:50 一般演題 2 その他① 座長：田平 一行 古河 琢也	13:00～13:50 一般演題 3 人工呼吸器領域・ ICU 領域① 座長：野々山 忠芳 高橋 佑太
14:00		14:00～14:50 教育講演 2 新型コロナウイルス感染症法 の改訂で、我々の生活は 変わったのか？ 座長：三川 浩太郎 演者：岩井 宏治	14:00～14:50 一般演題 4 間質性肺疾患① 座長：平澤 純 大場 健一郎	14:00～14:50 一般演題 5 神経筋疾患 座長：馬屋原 康高 松本 雄次	14:00～14:50 一般演題 6 肺炎・誤嚥性肺炎 ① 座長：村川 勇一 齋藤 広貴
15:00	15:00～16:20 シンポジウム 1 未来を呼吸する力： シームレスな理学療法連携と 若手が描く次の一手 座長：江越 正次朗 稲垣 武 シンポジスト：水澤 裕貴 沖 侑太郎 久堀 陽平	15:00～15:50 教育講演 3 COPD の病態と 治療への展開 座長：小谷 将太 演者：高橋 浩一郎	15:00～15:50 一般演題 7 間質性肺疾患② 座長：萩森 康孝 森山 武	15:00～15:50 一般演題 8 外科周術期① 座長：音地 亮 佐藤 慎也	15:00～15:50 一般演題 9 その他② 座長：宮城島 沙織 古川 慶彦
16:00		16:00～16:50 教育講演 4 呼吸器疾患における 息切れの最前線 座長：山科 吉弘 演者：金崎 雅史	16:00～16:50 一般演題 10 COPD・ 気管支喘息・ 非結核性抗酸菌症② 座長：杉谷 竜司 白土 健吾	16:00～16:50 一般演題 11 その他③ 座長：岩倉 正浩 平岡 大輝	16:00～16:50 一般演題 12 間質性肺疾患③ 座長：岩井 宏治 椿 拓海
17:00					

2 日目 2025年 11月30日

	第 1 会 場 テルサホール	第 2 会 場 セミナー室	第 3 会 場 大会議室	第 4 会 場 D会議室	第 5 会 場 中会議室
9:00	9:00～10:20 シンポジウム 2 呼吸理学療法に重なる 補助療法のチカラ 座長：野々山 忠芳 馬屋原 康高 シンポジスト：杉谷 竜司 柳田 頼英 守川 恵助	9:00～9:50 教育講演 5 COPD の早期発見と 治療に向けて 座長：大島 洋平 演者：田辺 直也	9:00～9:50 一般演題 13 人工呼吸器領域・ ICU 領域② 座長：西中川 剛 川畑 翔平	9:00～9:50 一般演題 14 外科周術期② 座長：柴田 健治 清水 和也	9:00～10:00 一般演題 15 間質性肺疾患④ 座長：今村 創 久堀 陽平
10:00		10:00～10:50 教育講演 6 呼吸リハビリテーションに関連する カットオフ値の臨床応用～そのカット オフ値は何を示しているのか？～ 座長：俵 祐一 演者：岩倉 正浩	10:00～10:50 一般演題 16 人工呼吸器領域・ ICU 領域③ 座長：吉岡 佑二 小野田 翔太	10:00～10:50 一般演題 17 COPD・気管支喘息・ 非結核性抗酸菌症③ 座長：宮本 直美 山口 朋彦	10:10～11:20 学生セッション 演題 座長：山下 康次 古川 大
11:00	10:30～11:50 シンポジウム 3 Respiratory Sarcopenia 2.0: 呼吸筋を測る時代の到来 座長：田中 貴子 山崎 岳志 シンポジスト：村川 勇一 大倉 和貴 白石 匡	11:00～11:50 JSRPT セッション 日本呼吸理学療法学会 主導研究成果報告 座長：神津 玲 演者：関川 清一	11:00～11:50 教育講演 9 ネーザルハイフロー療法と リハビリテーションの 統合的アプローチ 座長：直塚 博之 演者：奥田 みゆき	11:00～11:50 一般演題 18 間質性肺疾患⑤ 座長：川越 厚良 大庭 潤平	
12:00	12:10～13:00 ランチョンセミナー 呼吸理学療法における 非侵襲的呼吸管理 ～酸素療法・NPPV・HFNC～ 座長：玉木 彰 演者：永田 一真	共催：帝人ファーマ株式会社、帝人ヘルスケア株式会社			
13:00	13:10～14:00 セレクション演題 座長：木村 雅彦 瀬崎 学	13:10～14:00 教育講演 7 急性期の呼吸理学療法 座長：白石 匡 演者：大島 洋平	13:10～14:20 日本呼吸器学会・ 日本呼吸理学療法学会 合同企画 木洩れ陽 2032 設立の背景と展望 座長：佐藤 晋 演者：室 繁郎 神津 玲	13:10～14:00 一般演題 19 肺炎・誤嚥性肺炎 ② 座長：山科 吉弘 沖 侑太郎	13:10～14:00 一般演題 20 その他④ 座長：金崎 雅史 小谷 将太
14:00	14:10～15:30 シンポジウム 4 Navigating Clinical Dilemmas: 高負荷 vs. 低負荷トレーニングの Pros & Cons 座長：花田 匡利 武田 広道 シンポジスト：三嶋 卓也 古川 大	14:10～15:00 教育講演 8 間質性肺疾患の 呼吸理学療法 座長：久保 貴嗣 演者：稲垣 武		14:10～15:10 一般演題 21 肺がん 座長：倉田 和範 山崎 岳志	
15:00					
16:00	15:40～16:00 閉会式・表彰				

プログラム

第1会場(テルサホール)

開 会 式 11月29日(土) 12:00～12:20

大会長 堀江 淳

大会長基調講演 11月29日(土) 12:20～12:50

座長：宮崎 慎二郎(KKR 高松病院)

今、もう一度見直そう COPD と身体活動

堀江 淳(京都橘大学大学院 健康科学研究科長)

特別講演 11月29日(土) 13:00～14:30

座長：玉木 彰(兵庫医科大学)

呼吸理学療法への応援歌 ～呼吸リハビリテーションの未来を思い描く～

佐藤 晋(京都大学医学部附属病院)

シンポジウム1 11月29日(土) 15:00～16:20

座長：江越 正次郎(広島都市学園大学)

稲垣 武(千葉県立保健医療大学)

[未来を呼吸する力：シームレスな呼吸理学療法連携と若手が描く次の一手]

S1-1 急性期呼吸理学療法のこれから 現在の課題と未来へのアプローチ

近畿大学病院 リハビリテーション部

水澤 裕貴

S1-2 呼吸理学療法の空白を埋める： 回復期における介入とシームレスな連携の重要性

神戸大学大学院 保健学研究科

沖 侑大郎

S1-3 当院の取り組みから見てきた外来呼吸理学療法の課題と展望

やすだ医院

久堀 陽平

シンポジウム2 11月30日(日) 9:00～10:20

座長：野々山 忠芳(一宮西病院)
馬屋原 康高(広島都市学園大学)

〔呼吸理学療法に重ねる補助療法のチカラ〕

S2-1 NPPVは呼吸理学療法と併用すべきか？ ～一人でPros & Cons～

名古屋大学大学院 医学系研究科 杉谷 竜司

S2-2 酸素療法はここまできた！ ～HFNCで広がる呼吸理学療法の選択肢～

長崎大学 生命医科学域(保健学系) 柳田 頼英

S2-3 『栄養療法は補助療法??』 いやいや、呼吸理学療法の主役です!!

松阪市民病院 リハビリテーション室 守川 恵助

シンポジウム3 11月30日(日) 10:30～11:50

座長：田中 貴子(長崎大学)
山崎 岳志(京都橘大学)

〔Respiratory Sarcopenia 2.0：呼吸筋を測る時代の到来〕

S3-1 呼吸理学療法における呼吸サルコペニアの重要性

さぬき市民病院 リハビリテーション技術科 村川 勇一

S3-2 超音波画像で横隔膜の厚さを測る

秋田大学医学部附属病院 リハビリテーション部 大倉 和貴

S3-3 横隔膜の“動き”を診る：機能評価が導く臨床のヒント

近畿大学病院 リハビリテーション部 白石 匡

ランチョンセミナー 11月30日(日) 12:10～13:00

座長：玉木 彰(兵庫医科大学)

呼吸理学療法における非侵襲的呼吸管理 ～酸素療法・NPPV・HFNC～

永田 一真(神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科)

共催：帝人ファーマ株式会社、帝人ヘルスケア株式会社

シンポジウム4 11月30日(日) 14:10～15:30

座長：花田 匡利(長崎大学病院)
武田 広道(北陸大学)

[Navigating Clinical Dilemmas : 高負荷 vs. 低負荷トレーニングの Pros & Cons]

Pros

S4-1 運動療法の適応となる場合は高強度負荷トレーニングを推奨する

公立陶生病院 中央リハビリテーション部 三嶋 卓也

Cons

S4-2 低負荷トレーニングを再考する：臨床における意義と可能性

秋田リハビリテーション学院 古川 大

閉会式・表彰 15:40～16:00

第2会場(セミナー室)

教育講演1 11月29日(土) 13:00～13:50

座長：新貝 和也(霧ヶ丘つだ病院)

グローバルに呼吸理学療法を捉え、どう活かすか？

川越 厚良(市立秋田総合病院 リハビリテーション科)

教育講演2 11月29日(土) 14:00～14:50

座長：三川 浩太郎(中部学院大学)

新型コロナウイルス感染症法の改訂で、我々の生活は変わったのか？

岩井 宏治(星城大学 リハビリテーション学部 理学療法学専攻)

教育講演3 11月29日(土) 15:00～15:50

座長：小谷 将太(神戸国際大学)

COPD の病態と治療への展開

高橋 浩一郎(佐賀大学医学部附属病院 呼吸器内科 診療教授)

教育講演4 11月29日(土) 16:00～16:50

座長：山科 吉弘(藍野大学)

呼吸器疾患における息切れの最前線

金崎 雅史(東京国際大学 医療健康学部 理学療法学科)

教育講演5 11月30日(日) 9:00～9:50

座長：大島 洋平(京都大学医学部附属病院)

COPD 早期発見と治療に向けて

田辺 直也(京都大学医学部附属病院 呼吸器内科/リハビリテーション科)

教育講演6 11月30日(日) 10:00～10:50

座長：俵 祐一(聖隷クリストファー大学)

**呼吸リハビリテーションに関連するカットオフ値の臨床応用
～そのカットオフ値は何を示しているのか?～**

岩倉 正浩(秋田大学大学院 医学系研究科)

JSRPT セッション 11月30日(日) 11:00～11:50

座長：神津 玲(長崎大学)

日本呼吸理学療法学会 主導研究成果報告

関川 清一(広島大学大学院 医系科学研究科)

教育講演7 11月30日(日) 13:10～14:00

座長：白石 匡(近畿大学病院)

急性期の呼吸理学療法

大島 洋平(京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

教育講演8 11月30日(日) 14:10～15:00

座長：久保 貴嗣(JCHO 中京病院)

間質性肺疾患の呼吸理学療法

稲垣 武(千葉県立保健医療大学 健康科学部 リハビリテーション学科)

第3会場(大会議室)

教育講演9 11月30日(日) 11:00～11:50

座長：直塚 博之(佐賀大学医学部附属病院)

ネーザルハイフロー療法とリハビリテーションの統合的アプローチ

奥田 みゆき(国立病院機構 大阪南医療センター 呼吸器・アレルギー内科)

日本呼吸器学会・日本呼吸理学療法学会合同企画 11月30日(日) 13:10～14:20

座長：佐藤 晋(京都大学医学部附属病院)

木洩れ陽 2032 設立の背景と展望

室 繁郎(奈良県立医科大学 呼吸器内科学講座)

神津 玲(長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 理学療法学分野、長崎大学病院 リハビリテーション部)

一般演題プログラム

セレクション演題 第1会場(テルサホール)

セレクション演題 11月30日(日) 13:10~14:00

座長: 木村 雅彦(杏林大学)
瀬崎 学(済生会新潟県中央基幹病院)

- SE-1** 間質性肺疾患患者における高流量鼻カニューラ酸素療法使用時の
運動持続時間改善に関連する因子
長崎大学 生命医科学域(保健学系) 柳田 頼英
- SE-2** COPD 患者のエネルギー栄養失調を予測する臨床指標: 遊離脂肪酸の有用性
久留米大学 医学部 整形外科科学講座 富田 学
- SE-3** 慢性閉塞性肺疾患患者における位相角は肺内病変および
脊柱起立筋の状態を反映する有用な指標である
京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部 濱田 涼太
- SE-4** 呼吸サルコペニアは probable 呼吸サルコペニアよりも
食道癌術後の呼吸器合併症と強く関連する
秋田大学医学部附属病院 リハビリテーション部 長谷川 翔
- SE-5** 敗血症後超早期活動量と生命予後の関連性および臨床的介入を反映した
新敗血症モデルラットの検証
昭和医科大学 医学部 生理学講座 生体制御学部門 守屋 正道

一般演題 第3会場(大会議室)

一般演題1 11月29日(土) 13:00～13:50

[COPD・気管支喘息・非結核性抗酸菌症①]

座長：阿波 邦彦(奈良学園大学)

富 謙伸(公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院)

O1-1 呼吸サルコペニアを呈した最重症 COPD 患者に対する
外来リハビリテーションと栄養介入の効果

株式会社麻生飯塚病院 リハビリテーション部

川端 直人

O1-2 COPD 急性増悪に換気障害型肺性心と高 CO₂血症を合併し再挿管となった症例
離床進行の判断に着目して

上尾中央総合病院 リハビリテーション技術科

川村 悠

O1-3 低 BMI を伴う慢性閉塞性肺疾患患者の体重あたりの安静時エネルギー消費量の特徴

松阪市民病院 リハビリテーション室

落合 彩夏

O1-4 適切な酸素療法デバイスの変更と理学療法により、
再々挿管予防に繋がった COPD 急性増悪の一例

一宮西病院 リハビリテーション技術部

田中 隼基

O1-5 II型呼吸不全を有する最重症 COPD 患者に対する
CO₂モニタリングに基づく酸素投与管理と運動療法の有用性

近畿大学病院 リハビリテーション部

梶田 藍

一般演題4 11月29日(土) 14:00～14:50

[間質性肺疾患①]

座長：平澤 純(公立陶生病院)

大場 健一郎(田川病院)

O4-1 間質性肺疾患患者を対象とした1STSTにおける
6分間歩行距離400m以下のカットオフ値の検討

松阪市民病院 リハビリテーション室

武村 裕之

O4-2 特発性肺繊維症患者における1STSTを用いた
6MWTのSpO₂最低値の推定式の作成

松阪市民病院 リハビリテーション室

橋爪 裕

O4-3 間質性肺疾患患者における入院関連能力低下と生命予後の関連

市立札幌病院 リハビリテーション部

栗本 俊明

O4-4 間質性肺炎患者の時間内歩行試験
～ desaturation する要因を調査～

一宮西病院 リハビリテーション技術部

石橋 賢一

O4-5 HFNC を導入し、患者の状態に合わせた理学療法を行ったことで
自宅退院が可能となった高齢間質性肺炎の一症例

独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院 リハビリテーション室

橋爪 稚乃

一般演題7 11月29日(土) 15:00～15:50

[間質性肺疾患②]

座長：萩森 康孝(松山市民病院)

森山 武(市立函館病院)

O7-1 呼吸リハビリテーションにより胸郭拡張差が改善した
特発性胸膜肺実質線維弾性症慢性悪化患者の1例

福岡大学筑紫病院 リハビリテーション部

浜岡 秀明

O7-2 間質性肺疾患患者における入院関連機能障害と関連する因子の検討

北九州市立医療センター リハビリテーション技術課

小金丸 大我

O7-3 当院における間質性肺疾患の入院関連能力低下についての調査

横浜総合病院 リハビリテーション部 理学療法士

山下 隆太郎

O7-4 気胸を合併した間質性肺疾患患者に対する High flow therapy と
呼吸リハビリテーションの併用が奏功した症例

国際医療福祉大学市川病院 リハビリテーション室

善田 督史

O7-5 気腫合併肺線維症急性増悪後に高流量鼻カニューラ酸素療法併用下での
運動療法で運動耐容能向上を認めた一症例

聖隷三方原病院 リハビリテーション部

伊藤 来未子

一般演題10 11月29日(土) 16:00～16:50

[COPD・気管支喘息・非結核性抗酸菌症②]

座長：杉谷 竜司(名古屋大学)

白土 健吾(飯塚病院)

O10-1 超音波画像診断装置を用いた慢性閉塞性肺疾患患者の
横隔膜筋厚・移動距離測定の実現性と臨床指標との関連

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 保健学専攻 理学療法学分野

田中 貴子

O10-2 COPD 患者における樽状胸郭の定量化の試み

上武呼吸器科内科病院 リハビリテーション課

和田 直也

O10-3 気管支鏡的肺容量減量術を施行後に合併症を発症したが、
健康関連 QOL が改善した重症 COPD 患者の一症例

松阪市民病院 リハビリテーション室 柴田 華蓮

O10-4 慢性閉塞性肺疾患患者における運動耐容能に影響する新しい骨格筋指標の検討

社会医療法人財団新和会 八千代病院 総合リハビリセンター 齋藤 広貴

O10-5 慢性閉塞性肺疾患患者における生きがい改善に関わる要因の検討

神戸国際大学 リハビリテーション学部 小谷 将太

一般演題 13 11月30日(日) 9:00～9:50

[人工呼吸器領域・ICU 領域②]

座長：西中川 剛(関西医科大学)
川畑 翔平(一宮西病院)

O13-1 長期 VV-ECMO 管理にて ICU-AW を呈した若年 ARDS 患者の経過報告
— 早期に ADL の回復が得られた症例 —

香川大学医学部附属病院 医療技術部 リハビリテーション部門 加藤 渉

O13-2 重症肺炎後に長期人工呼吸器管理を要し、
ICU-AW を合併した症例への積極的理学療法経験

大阪府済生会中津病院 リハビリテーション技術部 芦田 俊吾

O13-3 頸髄損傷による咳嗽機能低下に対し MI-E と徒手の咳介助により
人工呼吸器離脱に至った理学療法経験

独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター リハビリテーション科 鈴木 翔

O13-4 当院 ICU 患者における自宅退院と関連している動作評価・ADL 評価の検討

山梨県立中央病院 リハビリテーションセンター 理学療法科 山内 健太

O13-5 人工呼吸器装着患者に対し呼吸器離脱状態での積極的な離床を行った事で
呼吸器離脱が可能となった症例

社会福祉法人あじろぎ会 宇治病院 リハビリテーション部 理学療法課 三浦 輝之

一般演題 16 11月30日(日) 10:00～10:50

[人工呼吸器領域・ICU 領域③]

座長：吉岡 佑二(京都大学医学部附属病院)
小野田 翔太(上尾中央総合病院)

O16-1 ICU 入室中から神経筋電気刺激療法及び段階的な運動療法を行い、
身体機能改善を得られた ARDS・敗血症の一例

一宮市立市民病院 リハビリテーション室 伊藤 将平

O16-2 抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎関連間質性肺炎に対し、
長期VV-ECMO管理を行なったが、自宅退院可能となった一例

藤田医科大学病院 リハビリテーション部 篠原 史都

O16-3 術後早期より支持前傾座位による離床を行い、横隔膜機能の変化を観察した一症例

医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院 リハビリテーション科 出口 一海

O16-4 空気流動ベッドの使用とリハビリテーション介入の変化が熱傷患者の
換気指標に与える影響：2例報告

新潟大学医歯学総合病院 医療技術部 リハビリテーション部門 坂野 周平

O16-5 長期人工呼吸器管理を要した急性心筋梗塞患者に対し、
多職種連携により日中離脱が可能となった1例

鎌ヶ谷総合病院 リハビリテーションセンター 田中 伸具

一般演題 第4会場(D会議室)

一般演題2 11月29日(土) 13:00～13:50

[その他①]

座長：田平 一行(畿央大学)
古河 琢也(西京都病院)

- O2-1** 当院呼吸器内科患者における入院時所見による退院先の検討
山梨県立中央病院 リハビリテーションセンター 理学療法学科 清水 幸平
- O2-2** 高齢呼吸器疾患患者における握力の年代別・病態別基準値と測定誤差
放射線第一病院 リハビリテーション科 安藤 茜
- O2-3** 重複する肺障害の症例に対する電気インピーダンス・トモグラフィーを用いた姿勢管理の介入報告
順天堂大学医学部附属練馬病院 リハビリテーション科 永島 修子
- O2-4** 通所リハビリテーション利用者における自覚的呼吸困難感と呼吸機能の関係
医療法人社団健育会 ライフサポートひなた リハビリテーション部 久保川 優
- O2-5** 慢性呼吸不全患者に対する呼吸理学療法の実施実態に関する全国アンケート調査
東海大学医学部付属病院 リハビリテーション技術科 市川 毅

一般演題5 11月29日(土) 14:00～14:50

[神経筋疾患]

座長：馬屋原 康高(広島都市学園大学)
松本 雄次(かとうクリニック内科・呼吸器内科)

- O5-1** 呼吸不全を呈した筋強直性ジストロフィー患者に対する高頻度胸壁振動法の使用経験
高知医療センター リハビリテーション部 西本 沙矢
- O5-2** 呼吸機能維持と呼吸器合併症予防を目標とした第5頸髄損傷に対するEarly Inspiratory Muscle Training
市立宇和島病院 リハビリテーション科 清家 光希
- O5-3** 気管切開患者に対する電気刺激を使用した咳嗽練習が腹部筋の筋活動に及ぼす影響—シングルケースデザイン—
横浜新都市脳神経外科病院 リハビリテーションセンター 阪口 里緒
- O5-4** 覚醒不良患者に対する腹部重錘負荷法を用いた呼吸筋トレーニングが横隔膜筋厚に及ぼす効果の検討
横浜新都市脳神経外科病院 リハビリテーションセンター 安慶名 航
- O5-5** 1年間の長期外来呼吸リハビリテーションが有効であったリンパ脈管筋腫症患者的1例
大阪複十字病院 リハビリテーション科 大庭 潤平

一般演題8 11月29日(土) 15:00～15:50

[外科周術期①]

座長：音地 亮(北九州市立医療センター)
佐藤 慎也(島根大学医学部附属病院)

O8-1 胸部装着型加速度計による術後離床状況の可視化と検証：
健常者および肺癌術後患者を対象とした研究

倉敷中央病院 リハビリテーション部 倉田 和範

O8-2 肺癌手術患者における術前肋間筋量は術後運動耐容能に影響を与える

株式会社麻生飯塚病院 リハビリテーション部 木戸 孝史

O8-3 肺癌手術症例における6分間歩行距離の予測値および実測値と生命予後との関連

亀田総合病院 リハビリテーション室 太田 幸将

O8-4 開心術後、非挿管下に一酸化窒素吸入療法を行い、早期に歩行が獲得できた一例

海老名総合病院 リハビリテーション科 柳沢 竜成

O8-5 呼吸サルコペニアは心大血管手術後の身体機能低下に影響する

一般財団法人住友病院 リハビリテーション科 清水 和也

一般演題11 11月29日(土) 16:00～16:50

[その他③]

座長：岩倉 正浩(秋田大学)
平岡 大輝(さくら総合病院)

O11-1 地域在住高齢者における呼吸サルコペニア分類の実態：
福岡県大川市介護予防事業における調査

柳川リハビリテーション学院 理学療法学科 金子 秀雄

O11-2 嚥下患者における在宅酸素療法導入と理学療法士の役割
—手話通訳を活用した生活指導の工夫—

新古賀病院 リハビリテーション課 若菜 理

O11-3 呼吸器疾患患者における呼吸困難に伴う労働生産性低下とその関連因子の検討

京都橘大学 健康科学部 山崎 岳志

O11-4 肺移植術後患者の就労に関連する因子の検討

千葉大学医学部附属病院 リハビリテーション部 増本 枝里子

O11-5 緊急帝王切開後に呼吸不全に陥り離床に難渋した一症例

板橋中央総合病院 リハビリテーション科 川村 未玲

一般演題 14 11月30日(日) 9:00~9:50**[外科周術期②]**座長：柴田 健治(大津赤十字病院)
清水 和也(住友病院)

- O14-1** 小児肺移植術後1年の6分間歩行距離に関連する周術期骨格筋指標の検討
京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部 浅野 伝美
- O14-2** 間質性肺炎を合併した肺癌術後患者に対し非監視下での
吸気筋トレーニングの効果を認めた一症例
株式会社麻生飯塚病院 リハビリテーション部 芥川 瑠梨
- O14-3** 術前栄養療法と理学療法の併用および術後多職種連携呼吸ケアが奏功した
肺癌術後気管支断端瘻の一例
島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部 難波 春地
- O14-4** 切除可能脾臓がん患者の術前栄養状態・運動耐容能の組み合わせと
生存率との関連
北九州市立医療センター リハビリテーション技術課 音地 亮
- O14-5** 当院における食道がん術後肺炎発症の関連要因についての検証
佐賀大学医学部附属病院 先進総合機能回復センター 直塚 博行

一般演題 17 11月30日(日) 10:00~10:50**[COPD・気管支喘息・非結核性抗酸菌症③]**座長：宮本 直美(畿央大学)
山口 朋彦(京都大学医学部附属病院)

- O17-1** 肺非結核性抗酸菌症患者におけるサルコペニアと疾患増悪との関連
坂出市立病院 リハビリテーション科 多田 新太
- O17-2** 週間エクササイズ量の違いによる安定期 COPD 患者の特性比較
かとうクリニック 内科・呼吸器内科 リハビリテーション室 松本 雄次
- O17-3** 外来慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者の骨格筋指数(SMI)と身体活動との関係
かとうクリニック 内科・呼吸器内科 リハビリテーション室 末永 拓也
- O17-4** 重度 COPD 患者に対する整形外科手術後の理学療法経験
大阪回生病院 リハビリテーションセンター 杉田 佳瑞葉
- O17-5** 急性期病院退院時は在宅復帰困難であった COPD 患者に対して
呼吸リハを継続し在宅復帰が可能となった症例
社会福祉法人あじろぎ会 宇治病院 リハビリテーション部 理学療法課 新井 聡馬

一般演題 18 11月30日(日) 11:00～11:50

[間質性肺疾患⑤]

座長：川越 厚良（市立秋田総合病院）

大庭 潤平（大阪複十字病院）

O18-1 総合病院における包括的呼吸リハビリテーション対象となった
間質性肺炎患者の骨格筋・栄養状態の特徴

JR 東京総合病院 リハビリテーション科

矢口 悠至

O18-2 短期間のセルフコントロール指導の実施により即時的な
低酸素血症の改善が得られた1症例

独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院 中央リハビリテーション部

飛山 海風

O18-3 肺移植急性拒絶反応発症後に紹介元医療機関にて
呼吸リハビリテーション介入を行った1症例

公立陶生病院 中央リハビリテーション部

長江 優介

O18-4 2型糖尿病を有する NSIP に対する理学療法とステロイド治療併用の試み

済生会福岡総合病院 リハビリテーション部

琴岡 憲亮

O18-5 孫の成人式の前撮り参加を機に間質性肺炎病者が参加に目を向け、
共同意思決定後、治療に積極的となった症例

ヘルスケアリンク株式会社 リンク訪問看護ステーションなかもず

井上 雄太

一般演題 19 11月30日(日) 13:10～14:00

[肺炎・誤嚥性肺炎②]

座長：山科 吉弘（藍野大学）

沖 侑太郎（神戸大学）

O19-1 肺炎患者の離床における入院前フレイルの特徴と運動自己効力感の関連性

医療法人社団晃悠会 むさしの救急病院 リハビリテーション科

富樫 健太

O19-2 急性期肺炎患者に対して Fan 療法導入し呼吸困難感の即時効果を認めた症例

飯塚病院 リハビリテーション部

内八重 勇哉

O19-3 中心静脈栄養下で自宅退院となった誤嚥性肺炎罹患後の
呼吸サルコペニア患者に対する理学療法経験

市立秋田総合病院 リハビリテーション科

川越 厚良

O19-4 高齢肺炎患者における入院関連能力低下と臨床的アウトカムの関連性

さぬき市民病院 リハビリテーション技術科

村川 勇一

O19-5 医療介護関連肺炎患者における退院転帰は嚥下機能低下と
入院中の肺炎再発が関連する

社会医療法人長崎記念病院 リハビリテーション部

青木 秀樹

一般演題21 11月30日(日) 14:10～15:10

[肺がん]

座長：倉田 和範(倉敷中央病院)
山崎 岳志(京都橘大学)

O21-1 肺癌周術期における手術関連骨格筋量減少が身体機能および
QOL に与える影響の検討

京都桂病院 リハビリテーションセンター 西村 喜裕

O21-2 高齢男性の肺がん患者における同居家族の有無は
身体機能・栄養状態に影響を及ぼすのか？

石切生喜病院 リハビリテーション室 小畑 空

O21-3 COPD 合併肺癌症例において、薬物療法と呼吸理学療法の相乗効果で
術後呼吸器合併症のリスク軽減に至った一例

総合大雄会病院 リハビリテーション科 村山 翔太

O21-4 肺癌患者における術前と退院時の6分間歩行距離低下と予後への関連

亀田総合病院 リハビリテーション室 清水 堂弘

O21-5 閉塞性肺疾患を有する肺がん患者の術前横隔膜ドーム高と術後生命予後との関連

近畿大学病院 リハビリテーション部 野口 雅矢

O21-6 薬物療法を施行する切除不能Ⅲ-Ⅳ肺癌患者における
サルコペニアが転帰に及ぼす影響：前向きコホート研究

筑波大学附属病院 リハビリテーション部 椿 拓海

一般演題 第5会場(中会議室)

一般演題3 11月29日(土) 13:00～13:50

[人工呼吸器領域・ICU 領域①]

座長：野々山 忠芳(一宮西病院)
高橋 佑太(聖路加国際病院)

- O3-1** 悪性症候群を合併した長期人工呼吸器管理例に対して呼吸状態に配慮した継続的介入が奏功した症例
医療法人社団永生会 南多摩病院 医療技術部 リハビリテーション科 高村 輔
- O3-2** 重症肺炎により人工呼吸器管理となった高度肥満患者に対して早期離床がADL再獲得に有効だった一例
大阪府済生会中津病院 リハビリテーション技術部 田中 翔太郎
- O3-3** 肺炎による敗血症性ショックにて長期人工呼吸管理を呈するが施設退院となった超高齢患者の一例
医療法人社団苑田会 足立十全病院 リハビリテーション部 浜野 拓哉
- O3-4** 骨髄性プロトポルフィリン症に対する脳死全肝移植術後に気管切開となり人工呼吸器離脱に長期間を要した症例
京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部 吉岡 佑二
- O3-5** 侵襲的人工呼吸療法中に広範な縦隔気腫を併発したMCTD合併肺線維症急性増悪患者のweaningの経験
JCHO 星ヶ丘医療センター リハビリテーション部 山本 准

一般演題6 11月29日(土) 14:00～14:50

[肺炎・誤嚥性肺炎①]

座長：村川 勇一(さぬき市民病院)
齋藤 広貴(八千代病院)

- O6-1** 意識障害を呈した誤嚥性肺炎患者に対して呼吸理学療法で短期間に無気肺が改善した一症例
社会医療法人きつこう会 多根総合病院 リハビリテーション部 松岡 佳春
- O6-2** 誤嚥性肺炎患者における質指標の可視化に関する多施設共同での取り組み
上尾中央総合病院 リハビリテーション技術科 小野田 翔太
- O6-3** 肺炎患者に対して高頻度胸壁振動法施行中の呼気陽圧療法併用により無気肺と労作時の酸素化が改善した一症例
株式会社麻生飯塚病院 リハビリテーション部 大津 愛可
- O6-4** 高齢肺炎患者における摂食嚥下機能と理学療法評価指標の関連性
医療法人社団洛和会 洛和会丸太町病院 リハビリテーション部 関 彩花

O6-5 高齢急性肺炎患者の退院時歩行能力に影響を与える因子の検討

鎌ヶ谷総合病院 リハビリテーションセンター

沼田 洸希

一般演題9 11月29日(土) 15:00～15:50

[その他②]

座長：宮城島 沙織(日本医療大学)

古川 慶彦(花畑病院)

O9-1 上肢で支持する前傾座位が酸素化改善に有効であった重症肺炎の一症例

日本バプテスト病院 リハビリテーション室

種田 康寛

O9-2 AI 仮想解析モデルを用いた左右上葉切除後の左右主気管支分岐角度増加が肺機能低下に及ぼす影響の解析

太田西ノ内病院 総合リハビリテーションセンター 理学療法科

金 達郎

O9-3 地域在住高齢者において気流閉塞の有無で身体機能や身体能力、体組成に差はあるのか

京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部

山口 朋彦

O9-4 呼吸リハビリテーションによって自宅退院が可能となった platypnea orthodeoxia syndrome の1例

長崎記念病院 リハビリテーション部

祐野 毅

O9-5 高度肥満の重症 COVID-19 肺炎に対し運動療法と栄養療法の併用が ADL 改善に寄与した一例

一宮市立市民病院 リハビリテーション室

石黒 愛実

一般演題12 11月29日(土) 16:00～16:50

[間質性肺疾患③]

座長：岩井 宏治(星城大学)

椿 拓海(筑波大学附属病院)

O12-1 間質性肺疾患急性増悪患者の入院中における体重減少と体組成変化の検討 —BIA 法による筋量・体水分の評価—

近畿大学奈良病院 リハビリテーション部

城山 潤

O12-2 急性期に低酸素血症許容下での運動療法が有効であった重症間質性肺炎の一症例

松江赤十字病院 リハビリテーション技術部

内藤 優人

O12-3 COPD Assessment Test は間質性肺疾患急性増悪患者の退院後1年以内の呼吸器関連再入院を予測する

さいたま赤十字病院 リハビリテーション科

田島 真哉

O12-4 演題取り下げ

O12-5 治療と並行した呼吸理学療法が奏功した間質性肺疾患の急性増悪例

学校法人兵庫医科大学病院 リハビリテーション技術部

新宮 広大

一般演題15 11月30日(日) 9:00～10:00

[間質性肺疾患④]

座長：今村 創 (SBC 東京医療大学)

久堀 陽平 (やすだ医院)

O15-1 間質性肺疾患患者におけるフレイルに関連する因子の検討

神奈川県立循環器呼吸器病センター リハビリテーション科

町口 輝

O15-2 間質性肺疾患入院患者における Frailty と生命予後および機能予後との関連

聖路加国際病院 リハビリテーション科

高橋 佑太

O15-3 入院期の間質性肺疾患患者における Short Physical Performance Battery の低値は生命予後悪化と関連する

北里大学病院 リハビリテーション部

小林 主献

O15-4 膠原病関連間質性肺疾患における身体的フレイルの有無と生命予後の関連

北里大学病院 リハビリテーション部

荻谷 英紀

O15-5 間質性肺疾患患者における 30 秒間椅子立ち上がりテストと 6 分間歩行試験時の低酸素血症の関係

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 リハビリテーション科

田辺 涼太

O15-6 軽症間質性肺炎における CPET 指標の早期評価能力： 6 分間歩行試験との比較 (教育入院患者 22 名の中間報告)

日本赤十字社医療センター リハビリテーション技術課

金子 賢人

一般演題20 11月30日(日) 13:10～14:00

[その他④]

座長：金崎 雅史 (東京国際大学)

小谷 将太 (神戸国際大学)

O20-1 在宅高流量鼻カニューラ酸素療法を導入した慢性閉塞性肺疾患を合併した気管支拡張症患者の一症例

松阪市民病院 リハビリテーション室

楠木 晴香

O20-2 運動習慣がない就学中の特発性側湾症患者に対し、外来理学療法により身体機能が改善した一症例

松阪市民病院 リハビリテーション室

稲葉 匠吾

O20-3 離床再開時期からの段階的運動療法やセルフトレーニングの習慣化が
効果的であった間質性肺炎増悪後の1症例

独立行政法人労働者健康機構 横浜労災病院 中央リハビリテーション部

森田 和弥

O20-4 活動性肺結核患者に対する入院後48時間以内の早期離床効果：後ろ向き観察研究

神戸市立西神戸医療センター リハビリテーション技術部

寛 哲也

O20-5 重症呼吸不全に対するICU/HCUでの医療者間共有意思決定の実施が
良好な患者転帰を及ぼした1例

練馬光が丘病院 リハビリテーション室

矢崎 祥一郎

学生セッション演題 第5会場(中会議室)

学生セッション演題 11月30日(日) 10:10～11:20

座長：山下 康次(市立函館病院)
古川 大(秋田リハビリテーション学院)

- | | | | |
|-------------|---|-------------------------|-------|
| SS-1 | 地域在住高齢者における口腔機能と呼吸困難の関連 | 京都橘大学 健康科学部 理学療法学科 | 和田 楓香 |
| SS-2 | 肺年齢測定会による COPD 認知度向上の効果
—大学祭を活用した地域啓発の試み— | 奈良学園大学 保健医療学部 | 瀬恒 茉友 |
| SS-3 | 不織布マスク着用下での最大運動負荷がストレス及び血糖値に及ぼす影響
～室内温度の違いによる検討～ | 国立長寿医療研究センター リハビリテーション部 | 田島 花音 |
| SS-4 | 玩具を活用した呼気トレーニングによる高齢者の呼吸筋力と呼吸機能への影響 | 藍野大学 医療保健学部 理学療法学科 | 小野 美月 |
| SS-5 | 呼吸筋力と睡眠時間の関係は年齢によって異なるのか？ | 兵庫医科大学 リハビリテーション学部 | 大森 理功 |
| SS-6 | 地域在住高齢女性の最大発声持続時間と主観的年齢ギャップによる
健康特性の分類とその関係要因の検討 | 神戸国際大学 リハビリテーション学部 | 高瀬 翔基 |
| SS-7 | 腹式呼吸および逆腹式呼吸が呼吸・循環パラメータに与える影響 | SBC 東京医療大学 理学療法学科 | 佐古 愛果 |